

地下水は誰のもの！？次世代に引き継ぐ地下水資源の未来の姿

地下水で拓く安曇野の未来シンポジウム



昭和の名水百選：安曇野わさび田湧水群

地下水は、市民共有のかけがえのない財産です。

豊かで潤いのある安曇野の暮らしの礎としての地下水を持続的に活用し、より良い状態で次世代に引き継ぎ、ひいては安曇野の未来が地下水で拓かれ、その先に、地域が誇れる水文化が紡がれていくために、私たちにこれから求められる役割は何でしょうか。

目指すべき「安曇野の地下水資源の未来の姿」を参加者の皆さんと共有し、具体的にイメージしていくためにシンポジウムを開催します。

■ 会場：堀金総合体育館サブアリーナ 住所：安曇野市堀金烏川 2662 (安曇野市堀金支所そば)

■ 日時：平成 26 年 10 月 12 日(日)14 時 00 分～17 時 00 分

プログラム

13:30 開場

14:00 開会

14:10 来賓あいさつ

14:25 基調講演①「水循環基本法について」

14:50 基調講演②「地域の地下水を守り、育み、そして活かす」

15:30 休憩

15:45 パネルディスカッション「地下水は誰のもの！？」

17:00 閉会

【イベント・展示】

(ロビーにて開催)

○利き水体験コーナー

安曇野の水など3種類の水の飲み比べ。全問正解者には記念品を進呈。

○パネル展示

- ・水の歴史と地域への恵み
- ・地下水の現状と取り組み効果の試算
- ・地下水涵養事業（麦後湛水事業）の取り組み
- ・安曇野市の地下水保全に関するアンケート結果 など

講演者・パネリスト紹介

【基調講演①】

◆「水循環基本法について」と題して基調講演いただきます。



袖野 玲子 そでの れいこ
環境省地下水・地盤環境室室長補佐

平成9年環境省(当時、環境庁)入省後、主に多国間の環境条約などを担当し、大気規制課、環境保全対策課、産業廃棄物課、OECD 日本政府代表部などを経て平成26年より現職。

【基調講演②・コーディネーター】

◆「地域の地下水を守り、育み、そして活かす」と題して基調講演いただきます。



橋本 淳司 はしもと じゅんじ
水ジャーナリスト、アクアスフィア代表

学習院大学文学部卒業。出版社で書籍編集の仕事に携わった後、ジャーナリストとして独立。水の課題を抱える現場、その解決方法を調査し、さまざまなメディアで情報発信。「水」という視点から持続可能な地域社会づくりのサポートするため、アクアスフィアを立ち上げ、アクア・コミュニケーターとして「伝える」×「つなげる」×「育む」活動を通じて、地域の水課題の解決に取り組んでいる。主な著書に「水は誰のものかー水循環をとりまく自治体の課題」(2012 イマジン出版)、「日本の地下水が危ない」(2013 幻冬舎)等がある。

【パネリスト】

丸山 光弘 まるやま みつひろ 信州山葵農業協同組合代表(有限会社 ナカマル代表取締役)

(略歴)家業のわさび栽培を引き継いで40年。栽培面積1ha。最近の地下水位低下の現状を訴え、市や地域の各種委員として、また、全国わさび生産者協議会会長としても活躍中。

桜井 克治 さくらい かつじ 安曇野工業会代表(ゴールドパック 株式会社 常務取締役)

(略歴)ゴールドパック入社後、商品開発業務に従事し、ミネラルウォーター類の商品化にも携わる。平成23年より現職。野菜系飲料、果実系飲料、天然水など飲料を中心とした製造・販売を手がける。

高原 正雄 たかはら まさお 養鱒業者代表(株式会社 辰巳 代表取締役)

(略歴)養魚(鱒)業一筋54年。広大な北アルプスからの豊かな湧水を活かし、信州サーモンやニジマス等の川魚の養殖・加工・販売を手がける。特にニジマスの円揚げ(つぶらあげ)はTV全国版で取り上げられ有名に。

八木 誠 やぎ まこと 安曇野市商工会代表(株式会社 水宗園本舗 代表取締役社長)

(略歴)「お茶は緑の水宗園」をキャッチフレーズにお茶の生産・卸販売等を行う。平成20年より安曇野の美味しい水を使用した緑茶ペットボトル飲料を発売。関東から東北、北海道にシェアを広げている。

村上 広志 むらかみ ひろし 行政代表(安曇野市 副市長)

(略歴)外資系製薬会社や(社団法人)豊科町開発公社の勤務を経て、平成15年に旧豊科町長就任。平成21年より現職。現在、2期5年目。わさび田近くに居を構え、旧豊科町長時代から地下水や湧水の保全に尽力。